

# 前 言

- ・本誌に収録した論考は、國學院大學學術フロンティア事業実行委員会が平成 15 年度に開催したフォーラム・シンポジウムにおける研究報告と平成 14 年度末に行った研究会の内容を基としている。各会の詳細は以下の通りである。

學術フロンティア研究会 「画像資料と近代史 - 歴史学研究における記録資料の役割 - 」  
平成 15 (2003) 年 3 月 15 日 13:00 ~ 17:00 於 常盤松 1 号館 3 階 第三演習室

- 山内利秋氏 「文化財担当者柴田常恵の記録 大場磐雄との関連性を軸に - 」
- 光江 章氏・酒巻忠史氏 「“ 楽石雑筆 ” にみる君津地方の遺跡調査」
- 中野 宥氏 「登呂遺跡にみる記録写真と大場磐雄」
- 大久保治氏 「保存科学における記録」
- 加藤里美氏 「登呂遺跡関連大場磐雄資料 - ガラス乾板と大場資料 - 」
- 平澤加奈子氏 「近代初期における學術雑誌の写真利用 - 『考古学雑誌』を事例として - 」

學術フロンティア画像資料研究フォーラム「人文科学と画像資料研究」  
平成 15 (2003) 年 7 月 12 日 13:00 ~ 16:00 於 120 周年 1 号館 1401 教室

- 荒井裕介氏 「大場磐雄資料作業報告」
- 倉石忠彦氏 「画像資料と民俗誌」
- 小林達雄氏 「考古学的情報としての画像」

學術フロンティア画像資料研究フォーラム「人文科学と画像資料研究」  
平成 15 (2003) 年 10 月 25 日 14:30 ~ 17:30 於 120 周年 1 号館 1407 教室

- 田中秀典氏 「柴田常恵資料の保存・整理作業」
- 青木繁夫氏 「画像資料と保存科学」
- 宮家 準氏 「かたちとところ - 柱の信仰と儀礼をめぐって - 」

學術フロンティアシンポジウム「画像資料論の可能性」  
平成 15 (2003) 年 11 月 1 日 13:00 ~ 17:00 於 120 周年 1 号館 1105 教室

- 杉山林継氏 「學術フロンティア事業の成果と今後の展望」
- 池田榮史氏 「沖縄県における映像資料の保存と活用の現況」
- 小川直之氏 「画像資料と民俗学」
- 齋藤ミチ子氏 「記録されたイザイホー - 画像から見た祭祀状況と聖域の変容 - 」
- 黒崎浩行氏 「メタデータ配信による画像資料活用の可能性」

- ・各執筆者の肩書きは報告当時のものである。
- ・本誌刊行にあたっては、杉山林継・小川直之の指導の下に編集作業を平澤加奈子・中村耕作が行い、以下の協力を得た。  
青木良輔・宇野淳子・加藤里美・菊田龍太郎・田中秀典・菱田京子・日原史絵・村松洋介